



備前市と岡山商科大学の 連携に関する協定書調印式

2014年3月28日

岡山市と岡山商科大学の 災害時における避難所の 指定等に関する協定書調印式

2014年5月21日



津山市と岡山商科大学との 連携に関する協定書調印式

2014年5月26日



地域との連携、続々

CONTENTS

<商大トピック>

- アクティブラーニングによる経営学特殊講義 ●徳島県神山町・大南信也氏講演会開催
- 岡山県生涯学習大学開催

<情報アラカルト>

- GPAによる成績評価について ●ESD国際ワークショップ開催 ●2014年度後期夕学講座

商大トピック

Topic

1

学位記授与式

2014.3.22

平成26年3月22日(土)第46回学位記授与式が挙行されました。本学附属高等学校吹奏楽部による荘厳な音楽が鳴り響く中、井尻学長やご来賓の方々からのお祝いの言葉が贈られ、在校生から送辞が捧げられました。卒業生を代表して、経済学部経済学科星野聡志さんが、恩師や後輩そして両親への感謝を述べ、将来への誓いを新たにしました。

●学位記授与者数	(名)
法学部法学科	58
経済学部経済学科	108
経営学部経営学科	168
経営学部商学科	76
商学部商学科	5
商学研究科	6
法学研究科	6
経済学研究科	4

(総務企画課)

前期学位記授与式

2014.9.12

9月12日(金)、前期学位記授与式が本館大会議室で挙行されました。学部8名(法学部法学科1名、経済学部経済学科1名、経営学部経営学科4名、商学科2名)、大学院8名(商学研究科5名、法学研究科2名、経済学研究科1名)に対して、井尻学長から学位記授与されました。皆様のご活躍を心からお祈りいたします。(総務企画課)

Topic

2

入学宣誓式

2014.4.3

平成26年4月3日(木)本学体育館において入学宣誓式が挙行されました。本学附属高等学校吹奏楽部が春を告げる歌を奏でる中、井尻学長から学部、大学院など計466名の入学許可が宣言されました。新入生を代表して、経営学部商学科の岡山将大さんが学生生活への誓いを宣誓し、商大での新生活がスタートしました。

(総務企画課)

Topic

3

備前市との間で包括協定を締結しました。

2014.3.28

本学は、平成26年3月28日(金)に備前市との間で包括協定を締結しました。

調印に当たり、吉村武司備前市長から、これまで様々な審議会への本学教員の参加に対するお礼と、これからの教育による町おこしの協力をお願いしたいとのご挨拶がありました。

備前市とは、これまでも経営学部岡本輝代志教授、同 田中潔教授、経済学部多田憲一郎教授等が審議会の委員として積極的な協力を行っており、これからは、インターンシップ、災害時の学生ボランティア、離島活性化の調査研究など複数の分野でも連携活動を実施していくこととなります。

また、実践教育の場として、備前市へのフィールドスタディへの広がりも期待されます。

(産官学連携センター)

Topic

4

津山市との間で包括協定を締結しました。

2014.5.26

本学は、平成26年5月26日に津山市との間で包括協定を締結しました。

津山地域ではこれまで、阿波地区において、地域課題についてのフィールドスタディを行い、冊子『商大生が見た阿波地区の現状と今後の課題』として取りまとめる活動を行いました。その活動をきっかけに平成25年度には「あばファンクラブ」が結成され、地域の寄り合いに参加し、阿波納涼祭りの準備やイベントスタッフとして参加するなどの活動を行いました。

また、平成25年4月には、岡山県立津山商業高校と包括協定を締結し、本学留学生と生徒が相互に訪問しての交流行事や、海外研修ツアーを実施しました。また岡山情報ハイウェイにより接続しているTV会議システム(商大サテライト)を活用して、留学生と高校生によるライブ型アクティブラーニングプログラムを実施しました。

さらに、津山市の中心商店街の活性化のため、商店街などが計画した経済産業省「地域商業再生事業」にかかる調査分析事業に、本学学生・教員と津山商業高校の生徒が住民へのアンケート調査に取り組み、本学教員が中心となり調査内容の計画と分析・まとめをしました。

協定の調印式では、宮地昭範津山市長から、「雇用の場の創出や子どもを産み、育てやすい環境づくり、地産地消・農商工連携などの推進など連携を行っていききたい」とのご挨拶がありました。

(産官学連携センター)

Topic

5

アクティブラーニングによる経営学特殊講義開始

2014.4.28

平成26年4月から(一社)岡山経済同友会のご協力のもと、「将来を考える経営」をテーマに経営学特殊講義を開講しています。1996年から始まった本講義も19年目を迎え、本年度から「アクティブラーニング」という新しい教育形式での講義が始まりました。



この新しい教育形式は、提示された課題に対してグループ内で討論し、まとめ、そして発表までを行うことで、集団での問題解決能力や発表力の修得を目的として取り入れられました。

平成26年度前期は、公益法人福武財団事務局 局長・金代健次郎氏、公益法人福武財団国吉康雄分室アドバイザー・森弥生氏、岡山市商店会連合会会長・長谷川誠氏、岡山市中之町街づくり(株)代表取締役社長・片山進平氏、(株)岡山コンベンションセンター代表取締役社長・藤原隆昭氏、山陽SC開発(株)代表取締役社長・押川正太氏、備前焼作家・藤原和氏にご登壇いただきました。後期では、(一社)岡山経済同友会代表幹事・荻原邦章氏、サンワプライ(株)代表取締役社長・山田哲也氏、(株)シーズ代表取締役社長・平川清高氏、NPO法人輝くママ支援ネットワークばらママ代表・藤井弥生氏、うらじゃ振興会岡山商工会議所スポーツ支援委員会委員長・延原正浩氏、岡山中央魚市(株)代表取締役社長・同前裕一郎氏ら6名に2回ずつ講義をして頂く予定になっています。

(経営学部 准教授 渡邊憲二)

Topic

6

徳島県神山町・大南氏講演会

2014.6.18

平成26年6月18日(水)、「創造的過疎への挑

戦～ヒトノミクスから考える地域の未来～」というテーマで、NPO 法人グリーンバレー理事長 大南信也氏による公開講演会が開催されました。自治体、経済界など多方面のご後援を受け、学生だけでなく、地方自治体の職員、まちづくりNPOの関係者などの社会人が聴講されると共に、岡山情報ハイウェイによって、瀬戸内市、新庄村、津山商業高校などに遠隔配信され、合わせて約300人が熱心に聴講されました。



グリーンバレーの活動のユニークさは、地域の資源は「モノ」ではなく「ヒト」だと考え、人が人を呼ぶ連鎖と循環の構造の中で多様なヒトが集まる「せかいのかみやま」づくりを目指していることです。日本初の「アダプトプログラム」、「神山アーティスト・イン・レジデンス」、「ワーク・イン・レジデンス」、「IT 企業のサテライトオフィス誘致」、「神山塾」などの他、「まちの将来に必要なと考えられる働き手や起業家を逆指名して定住してもらう」という革新的な手法によって取り組んだ活動の経緯と成果について話してくださいました。神山マインドの神髄である、「楽しいことをやる」、「マイナスをプラスに捉える」、「やったらえんちゅう!」から創出された様々な活動成果は、少子高齢化が進展する地域社会に関心や危機を感じておられる聴講者にとって、多くの刺激と示唆を得る機会となりました。

(経営学部 特任教授 馬淵キノエ)

Topic

7

犯罪被害者講演会

2014.7.10

7月10日、岡山県警の提供により犯罪被害者講演会が行われました。商大での犯罪被害者講演会は今回が3回目で、約80名の学生が参加しました。



加藤裕司氏(犯罪被害者遺族)による講演では、事件の経過とその際のご自身の心情についてお話しいただいた後、被害者遺族として出席(被害者参加制度による)した裁判員裁判の他、捜査・被疑者逮捕時の様子や、事件後の民事訴訟、犯罪被害者への給付金や遺族年金等の手続など、事件にまつわる様々な場面で直面した困難さを述べられました。

加藤氏は、特に法を学ぶ学生に対して、このような実態について知ってほしいという希望とともに、これから学習を重ねる上で司法制度について疑問があればことごとく考えてほしい、というメッセージを述べられました。学生たちは、真剣に講演に耳を傾け、加藤氏のこぼれ話をしっかりと受け止めていました。

(法学部 准教授 小浦美保)

Topic

8

新入生歓迎パーティー開催

2014.4.18

4月18日(金)、教職員や松平食堂、在学生といった沢山の方々の協力の元、新入生歓迎パーティーが盛大に開催されました。バイキング形式の食事やステージでの歌やダンスの演出によって大勢の参加者に楽しんでいただくことができました。新入生歓迎パーティーを通じて教職員や在学生、新入生が親睦を深め、今後の参加者の大学生活が充実したものになればという思いで運営に携わりましたが、その思いが通じていると感じています。参加者や関係者の皆様、この場をお借りし厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。

(学友会執行本部 岡本大輝)

Topic 9

保護者懇談会

2014.9.13

9月13日(土)に恒例の保護者懇談会を本学で開催し、多数の保護者の皆様にご参加いただきました。個別面談を中心に、教育支援の説明や、岡山県中小企業団体中央会から窪田司氏を招いての講演会など、充実した時間を共有することができました。遠方からご来場いただいた方もおられ、この場を借りて改めてお礼を申し上げます。(総務企画課)

Topic 10

科学研究費助成事業への取り組み

2014.9.1

科学研究費助成事業(科研費)とは、研究者の学術振興を図るため、人文・社会科学から自然科学分野まで、あらゆる分野における独創的、先駆的研究の発展を目的とする文部科学省による研究助成費です。本学からも、毎年多数の研究者が申請を行っており、平成26年度では以下のテーマで研究費の交付を受けています。

研究種目・期間	研究課題	研究者(所属)
基盤研究(A) [研究分担者] H23～27	日本企業のコラボレーションとイノベーション:新製品開発のダイナミクス	川合 一央 (経営学部・講師)
基盤研究(C) [研究分担者] H23～26	小・中学生の社会的思考力・判断力の発達に基づく社会授業モデルの開発研究	前田 健一 (経済学部・教授)
基盤研究(C) [研究代表者] H24～26	わが国企業の経営活動の中国展開とコスト・マネジメントのハイブリット化の実態と課題	井上 信一 (経営学部・教授)
基盤研究(C) [研究分担者] H24～26	わが国企業の経営活動の中国展開とコスト・マネジメントのハイブリット化の実態と課題	于 琳 (経営学部・准教授)
萌芽研究 [研究代表者] H24～26	戦後日本企業と技術的知識に関する実証研究	川合 一央 (経営学部・講師)
基盤研究(C) [研究分担者] H24～26	地方のオンリーワン型中小企業の企業家活動と競争力の源泉	于 琳 (経営学部・准教授)
基盤研究(B) [研究分担者] H25～27	科学技術政策と産業クラスターの存続に関する国際比較研究:企業家再生産と産官学連携	于 琳 (経営学部・准教授)
基盤研究(A) [研究分担者] H25～28	イギリスの公法改革における普遍性と固有性の相互関係再編に関する総合的比較法研究	伊藤 治彦 (法学部・教授)
基盤研究(C) [研究代表者] H26～28	学歴と賃金構造の国際比較	三谷 直紀 (経済学部・教授)
基盤研究(C) [研究代表者] H26～28	非ネーター群と群環の原始性の研究	西中 恒和 (経営学部・教授)

(総務企画課)

Topic 11

商大生、地域で活躍しています!

2014.9.2

4月7日(月)にJR岡山駅前において、子どもの安全確保を呼びかける街頭キャンペーンを実施しました。キャンペーンでは、本学の学生ボランティア『ももパト隊』の学生が、周辺の2大学の学生、ももっちと一緒に啓発品を配布しました。

またESD関連事業の一環として、6月11日(水)と7月7日(月)に中国銀行津島支店前にて京山学区防犯パトロール隊の皆さんのご協力の下、本学学生・職員で自転車の盗難防止・マナーアップに関する啓発グッズの配布を実施しました。9月にも同様の活動を実施予定です。さらに、11月に行われる同地区秋の文化祭には学生及び職員も参加予定です。

9月2日(火)には県知事と県民が対話する『生き活きトーク』の一環として、本学のももパト隊の学生が周辺の4大学1短大の学生と、安全・安心な県づくりをテーマに知事と意見交換しました。地域に根差し、共に活性化していく大学を目指しこれからも様々な活動に取り組んでいきます。(学生課)

Topic 12

学会懸賞論文 表彰佳作六名

2014.3.22

本学学会主催の学生懸賞論文の結果が発表され、大学院生の部1名、大学生の部5名が佳作を獲得しました。3月22日(土)の学位授与式後に本館小会議室で表彰式が行われ、学生の研鑽が称えられました。なお、論文の統一テーマは「どのような未来志向的ビジョンを築いてゆくべきか」です。サブタイトルのみを受賞者と共に掲げておきます。

【大学院生の部】

白井美香(経済学研究科2年)

「個票データと疑似マイクロデータに関する研究」

【大学生の部】

田中新平(法学部4年)

「性犯罪の抑止と被害者支援」

古川稜(法学部4年)

「少年院入院者の教育的観点から」

吉田光希(法学部4年)

「足利事件と取調べの可視化」

高木宏明(経営学部4年)「ユニクロの経営戦略とスシローの新規事業展開の提案」

星野聡志(経済学部4年)「フォーワードルッキング型金融政策モデルを用いた分析」
(法学部 教授 九鬼一人)

Topic 13

岡山県生涯学習大学主催講座、開催

2014.8.25

岡山県では、県民の皆さんが自分に適した学習内容を選択し、学習できるように、様々な学習機関が行う講座を体系化した「岡山県生涯学習大学」を開催しています。

本学では、岡山県からの委託を受け、現代的課題を学ぶコースに「少子高齢化と日本経済」と題した講座を提供しました。少子高齢化が急速に進む中で、人口動態の変化が日本経済に与える影響と政策的な課題についての講座を33名の方が受講されました。また、テレビ会議システムを使い、商大サテライト会場(瀬戸内市)でも開講され受講をされました。

<講座日程・テーマ>

期日	10:00～12:00	13:00～15:00
8月25日(月)	少子高齢化と地域経済 経済学部 教授 多田憲一郎	国の財政と少子高齢化 山口大学経済学部 准教授 小嶋寿史
8月26日(火)	高齢化社会における資産運用の現状と今後の展望 経済学部 准教授 山根智沙	高齢者雇用一企業と高齢者の選択と課題 経済学部 教授 有利隆一
8月27日(水)	少子高齢化と女性・若年の雇用 経済学部 教授 三谷直紀	少子高齢化と医療保険制度を巡る諸問題 元経済学部 教授 山下隆資
8月28日(木)	超高齢社会における介護保険と老いの覚悟 経済学部 講師 國光類	福祉国家のゆくえ 経済学部 教授 福田巨

(*本年度は経済学部が担当)

<受講者の声>

少子高齢化の諸問題を様々な視点から講義をして頂き、参考になりました。莫大な債務、社会保障の負担を減らすのは難しいかもしれませんが、各々が当事者意識をもって、自分の仕事や地域でできることはあります。それらを積み上げていけば、経済は活性化していくと思います。まず自分

から具体的に行動していきたいです。
(社会総合研究所)

Topic 14

環境について考える エコナイト

2014.7.6

平成26年7月6日(日)に岡山駅東口広場において、県内16大学が参加しエコについて考えるイベント「エコナイト」が開催されました。



本学からは、昨年度に引き続き、本学が包括協定を結ぶ瀬戸内市や新庄村で積極的に取り組まれている「アヒル農法」に関する展示を行いました。アヒル農法はアヒルが雑草や害虫を駆除する環境に配慮した農法で、経営学部岸田芳朗教授が普及に努めているものです。

当日はあいにくの雨模様となりましたが、本学から参加した35名の学生は積極的に街ゆく方々に声をかけ、展示をもとに環境についての説明を行いました。アヒルの雛は特に人気で、多くの方々が足を止め写真を撮影し、さらに興味を持たれた方は、アヒル農法により作られた有機米を購入されました。(産学官連携センター)

Topic 15

キッズマネー教室 各所で開催

2014.6.2, 2014.8.6

児童にとってわかりにくいお金についての教育を、シナリオゲームを用いてわかりやすく伝えるキッズマネー教室を県内各所で開催しています。

平成26年6月2日には、岡山県生涯学習センターにおいて大学コンソーシアム岡山による「日ようび子ども大学」にブース出展をしました。キッズマネー教室は、年間行事の代表的なイベントに例え、自分が欲しい物を手に入れるまでの計画を立案し、手に入れるまでの課程で、お金についての知識・理解を身につけることを目標としています。学生13名がゲーム内容について説明し、来場した児童とその保護者135名が楽しくゲームに参加していました。

また、平成26年8月7日には、吉備信用金庫、総社市こども課及び「子育て王国そうじや」まちづくり実行委員会が共同開催する支援事業「地域における子育て支援サービスの充実」活動へ参加し、学生9名が児童保護者69名を対象にキッズマネー教室を実施しました。地元倉敷ケーブルテレビや山陽新聞社なども取材に訪れ、金融教育への関心の高さがうかがえました。

(経営学部 准教授 高林宏一)

Topic 16

「+YOUニッポン応援全国キャラバン」開催

2014.8.24

東京証券取引所主催、本学協賛による「+YOUニッポン応援全国キャラバン」が、岡山では一昨年に引き続き、8月24日から4日間の日程で開催されました。初日は本学の近藤一仁教授による講演会などが行われ、2日目からは(株)中国銀行、萩原工業(株)、はるやま商事(株)をはじめとした中国四地域を代表する企業のトップ自らが自社を説明するといった貴重な場となりました。

本学からは、多くのFPコースの学生が参加し、4日間すべての説明会に参加したFPコースの大熊美聖さんは、「よく店舗を利用している身近な企業が新発想で出店を計画しており、消費者にとって利用価値がますます高まる」と、異業種の経営戦略を比較できたことがとても勉強になったようです。今後もこのような「現場から学ぶ」イベントに多くの学生が参加することを期待しています。(経営学部 講師 海宝賢一郎)

留学生学外研修旅行 特別史跡「旧閑谷学校」訪問と日本陶芸「備前焼」体験

4月19日(土)早朝、日本に来たばかりの私たちにとっては待望の研修旅行に引率の先生たちと共に46名は学園バスで閑谷の地を目指しました。

旧閑谷学校は江戸時代初期に藩士の子弟や農民、町人のための岡山藩直営の庶民教育の学校です。学校建築では唯一日本の国宝に指定されていて、とてもきれいな講堂や周辺施設に敬意を払う日本人に深い感銘を受けました。講堂の正面の壁に「定」と「朱文公学規」が架けられ、東側の額には「克明德」と書かれています。一番気に入ったのは、講堂の備前焼の瓦の屋根です。蝶の模様が印されています。早速私たち一行は講堂で論語唱和の学習が始まりました。孔子先生の「己に克ちて礼に復るを仁と為す。一日も己に克ちて礼に復れば、天下仁に帰す。」という言葉が深く心にしみました。中国から来た私たちも論語の魅力と儒学の教えを再認識すると共に、日本人の勤勉さと礼儀を重んじる姿勢に見習うことがたくさんありました。

講話研修が終了すると全員で雑巾や箒で講堂の床掃除です。活発な雰囲気にあふれ、昔の生活に入ったようで気持ちがよかったです。昼食の時間には、8班に分かれて日本の食事マナーを学びながら、楽しくおいしい日本料理を食べ、日本文化に一步近づいた感じがしました。

次は、いよいよ備前焼体験です。プロの備前焼作家の指導を受けながら、世界に一つしかない自分の作品に挑戦しました。備前焼は、日本六古窯と言われるように、長い歴史に育まれこの地域の伝統的な独特な風合いのある焼き物です。いざ自分で作るとなると、見た目よりなかなか難かしく夢中になって粘土をひねりました。その感触は最高の体験でした。

今回の研修旅行は充実して貴重な体験でした。岡山の歴史を学び、観光地を訪ね歩いて、見て、さわって肌で理解を深めました。なんとなく心も豊かになった気持ちです。楽しい写真もたくさんとれました。日本人の礼儀と親切も実感しました。たくさんの友達も出来ました。ほんとうにいい思い出の1日でした。これからは、一生懸命勉強して早く日本人と友達になりたいと思いました。

(交換留学生・白曉敏・熊凱達・王慧・楊珍・謝玲)



エッセー
数珠つなぎ

「朝の贅沢な時間」

経済学部 准教授 山根 智沙子

今年の4月から岡山商科大学に赴任し、娘と二人暮らしの生活をスタートさせ、早くも半年が過ぎました。幼稚園に通い始めた娘と2年ぶりに仕事復帰を果たした新米ママ。今までの生活とはガラッと変わりました。それこそ、朝は戦いです(笑)「早くご飯を食べよう!」「早く歯磨きをしよう!」「遅刻する〜!!」と何度、娘の手を取り走ったことか…。「早く」という言葉も何度言ったかわかりません…。

ところが夏休みに入り、毎朝、娘と一緒にNHKの朝ドラ「花子とアン」を見るのが日課になっています。こんなに穏やかな気持ちで、朝からテレビを見るなんて!なんと贅沢!自然と顔もほころびます。そんなとき、ふと娘が、「ママ、大好きだよ」と私の頬にチュ。こんな幸せな瞬間はありません。

「心に余裕がある」ということ。幼い娘も、私の心の余裕に気づいたのでしょうか。心に余裕があると、同じ出来事が起こっても対応の仕方が変わります。そんな経験、皆さんもきっとされたことがありますよね(汗)朝の一番忙しいとき、「ママ〜、お茶がこぼれた〜」「えっ!?なんで!?!」と思わず一言。「大丈夫だよ」と声をかけられない自分自身にさらに苛立つ…。という悪循環。余裕のなさの表れです。結局は、私の段取りが悪いのです(苦笑)時間に余裕があれば、心に余裕が生まれる。「自分で上手に時間を作る」ことがポイントなのかも知れませんね。

夏休みが終わってからも、穏やかな朝を娘と過ごせるようにしたいものです(もちろん、テレビは夏休みだけのお楽しみですが)。娘と一緒に朝ごはんを食べながら会話を楽しむ、そんな贅沢な時間を持ちたいと思います。もっと欲を言えば、たまには主人に娘を任せて、カフェで一人、朝の贅沢な時間を過ごしたいな…。いつか過ごせますように☆

作家の視点

江戸川乱歩賞作家

石井敏弘

先日、動物を保護する活動をしている人にお目にかかりました。たとえば、保健所に捕獲され処分されてしまうような野良猫を保護して、里親を見つけた活動をされている方で、今後は本州に生息するツキノワグマの保護活動もなさるそうです。

その方とお話した時に、私も過去の体験をお伝えさせていただいたのですが、実は一年程前、私は猪と交通事故を起こしたことがあります。深夜の帰宅途中、狭い山道を行く時、いきなり前方のライトの中に、下の土手からヒョイと大きな猪が飛び上がったのです。

ブレーキを踏む時間さえ与えられないほどの至近距離で、何メートルか猪を押し出すような格好で止まりました。野生動物とはすごいもので、その後、よろよろしながら、それでも山へ逃げて行きましたが、私の車はフロントがかなり破損していました。そして、ゾッとしたのは、これがバイクなどだったら、こっちが死んでいたかもしれない、という事実です。

じつはこの猪、もともとはイノブタとして飼われていたものを、飼い主が無責任に放逐し、その後繁殖して野生化したものだと言われ、今ではその辺中に群れをなし、田畑を食い荒らしているのです。周辺の家は、もう稲作は完全に断念してしまっています。

生き物と向き合うには、やはり責任というものが付きます。こんな大げさな動物の話だけではなく、普通の犬や猫でも、よく捨てられていたという話を耳にします。

「人間は人間が助ける。だから自分はそんな動物を救いたい」と、この方は仰っていました。

非道な犯罪で、弱い命が奪われるような事件も多い世の中ですが、それもそのはず。恐ろしい犯罪に手を染めぬまでも、多くの人は命を軽んじている。たかが犬や猫の命ではない。やはり小さなことの中にも、大きなことの芽があると感じた出会いでした。

Asia Report アジアレポート

孔子学院便り

(1) 春節交流会

2014年1月25日、中国の年中行事である春節を中国語講座受講生や地域住民に体験してもらうため、「春節交流会」を開催しました。参加者は孔子学院の教師や留学生達と共に餃子を作りました。二胡演奏「北国の春」、中国少数民族(傣族)舞踊「春の律動」、中国現代の歌「十年」などの出し物を楽しみながら盛んな交流を行いました。中国語講座受講生、地域住民と留学生を併せて95名の参加者がありました。

(2) 第1回中国文化サロン(二胡教室)

2014年5月18日、中国文化の普及を市民に図る事を目的として「第1回中国文化サロン」を開催しました。第1回中国文化サロンは中国伝統楽器について詳しく紹介し、参加者は二胡演奏の体験をしました。37名の方に参加いただきました。

(3) 端午節交流会

2014年5月31日、中国の年中行事である端午節を中国語講座受講生や地域住民に体験してもらうため、「端午節交流会」を開催しました。交流会に先立って、孔子学院黎曉妮副院長は端午節にまつわる伝説を紹介し、その後参加者は孔子学院の教師や留学生達と共にちまき作りなど体験しました。中国語講座受講生、近隣住民と留学生を併せて61名の参加者がありました。

(4) 中国語朗読コンテスト

孔子学院が設立されて7年目になり、これらの受講生に学習成果を発表し、他の中国語学習者と交流する機会を提供するため、2014年6月21日に第1回中国語朗読コンテストを開催しました。書類審査を通過した9名の選手(社会人4名、学生5名)が発表しました。

(5) 子供向け中国文化講座

2014年6月22日、岡山市内の中国語教室の要請を受けて、子供向け中国文化講座を行われました。孔子学院副院長の黎曉妮は

「中国はどんな国」のテーマで子供たちに中国の人口、民族、文化などを紹介しました。その後子供たちは孔子学院の教師と共に中国京劇のお面描きなど体験しました。22名の参加者がありました。

(6) 太極拳教室

2014年7月10日、岡山市福祉交流プラザ旭東の要請を受けて、太極拳教室を開催しました。孔子学院副院長の盛凱は丁寧に参加者に太極拳の基本知識を説明し、太極拳を実践してもらいました。近隣地域から15名が教室に参加しました。

(7) 料理教室

2014年7月12日、岡山市福祉交流プラザ富原の要請を受けて、中国餃子作り教室を開催しました。孔子学院教師は丁寧に参加者に説明し、餃子作りを体験してもらいました。そのほか、簡単な中国語教室も行われました。近隣地域から15名の一般市民が教室に参加しました。

(8) 青少年中国文化体験ツアーin燕趙園

2014年7月27日、「青少年中国文化体験ツアーin燕趙園」を実施しました。小中学生と保護者を併せて40名の参加者がありました。参加者は中国の雑技を鑑賞したり、中国式庭園を見学したり、中国風風呂を体験したりして、楽しい一日を過ごしました。

(9) 孔子学院の日

孔子学院本部が設立されて10周年記念のため、9月27日(土)に孔子学院を一日開放しました。

9:30~12:00 ミニ中国語講座、漢字についての講演会

13:30~17:30 中国茶、中国結び、二胡演奏、カラオケ喫茶などの文化体験コーナー

(10) 2014年度の伝統芸術鑑賞会は10月25日(土)を予定しています。

2014年台湾日本国際企業発展シンポジウムを開催しました。

7月12日(土)、本学と台湾の建国科技大学との共催で、2014年台湾日本国際企業発展シンポジウムが、台湾から教員・学生ら20名が参加、本学からも21名の参加をもって、行われました。「企業の国際化への努力」のテーマのもと、本学からは経営学部川本和則「会計の国際化と企業」について、また建国科技大学からは国際企業管理学科副教授(応用外語学科 助理教授)劉欣芸氏が「大学生跨國工作能力之培養—建國科技大學之經驗(大学生の国際化の能力の育成—建國科技大学の例として)」と建国科技大学の国際化への取り組みをご講演くださいました。また、今回の来日の目的が日本のビジネスについて学ぶことであ

たので、倉敷ファッションセンター(株)の花房智彦氏から「日本のジーンズ業界の変遷と現状」についてお話を頂き、午後からは倉敷市児島へ向かい「ベティスミスジーンズミュージアム」などを見学し、ジーンズ業界の歴史と現在を学習しました。今回、シンポジウムの準備期間が1か月弱と慌ただしいものでしたが、今後はより充実したシンポジウムが継続的に開催できるよう、本学と建国科技大学のアカデミックな交流が深まることを願っています。(経営学部 准教授 松浦美佐子)



「日本事情」課外授業 ～「坐禅・茶道」体験と「犬養木堂記念館」見学～

7月5日(土) 薄曇りで暑い太陽が隠れた早朝、「日本事情」受講生の中国、韓国からの留学生15名は先生たちと共に総勢23名で課外授業体験に学園バスで犬養木堂記念館へ向かいました。バスで20分くらいで着いた場所には、空気もよく物静かで典型的な日本家屋の記念館の姿が見えました。

会場では、茶道のボランティアの方や坐禅の先生と記念館の人から温かい歓迎を受けました。坐禅の部屋に入ると、既に準備された座布団がずらっと並んでいるのが目に入りました。早速、「坐禅体験」が始まります。坐禅の先生の坐禅とは何か、そして坐禅の効用や人生にとって大切な心の持ち方などの講話を聞いて、先生のお手本に従い坐禅の実体験に入りました。座布団を二つ折りにしてお尻を高くして座り、足をあぐらのように組み右足を左の腿の付け根に重ねます。これは正式な結跏趺坐の姿勢ですが、なかなか難しかったです。視線は1.5m前方に落とし、背を伸ばして姿勢を正して両手の親指と人差し指で輪を作るようにして膝の上に置き、頭の中の雑念を一つ一つ取り払い無我の境地に向かいます。全員が坐禅姿勢に入ると、室内は一気に静寂に包まれました。呼吸を整え心を開放した瞬間、新鮮な空気が体の隅々まで行き渡り心と体が一体となった不思議な感じがしました。長いと思った時間もたった20分という一瞬の出来事でした。言葉では言い表せない風のような時間が流れた体験でした。

坐禅の座布団を全員で片付けた後は、茶道の準備ができる間に「七夕の体験」です。自分の願いを色紙の短冊に書いて、廊下の外の青竹の枝葉に飾るという日本の伝統的な夏の行事です。銘々の願いごとと短冊が色とりどりに結びつけられました。ドラマやアニメで見たことはありますが、実際にやれて良かったです。

次は同じ部屋でいよいよ「茶道体験」です。初めに大学職員の

伍賀さんと茶道先生によりお手本の作法が皆の前で実演されました。それから幾つかの班に分かれて、美しい着物の着付けのボランティアの先生たちが勢揃いで親切に一つ一つ作法を説明しながら、私たちが茶の湯の世界に導いてくれました。先ず美味しい和菓子が出されました。それを食べた後、先生がたてたお茶をすすめられました。お茶碗の持ち方から飲み方、飲んだ後の作法まで一つ一つ丁寧に教えてくれます。ひと通り作法を済ませると、今度は自分でお茶をたてます。見た目よりなかなか難しかったです。小さな事まで気を遣う日本の繊細さには感動しました。人との出会いは一生に一度のものと思い、相手に最善を尽くすという一期一会の精神も良く理解できました。茶道具を愛で、客人との心の交流を大切にする茶道の奥深い思いやり、おもてなしの伝統精神には学ぶことが多くありました。

最後は、記念館の副館長さんの案内で「犬養木堂記念館」の見学です。犬養元首相の功績について写真や書道を拝見しながら知りました。当時の日本とアジア近隣諸国との交流を学び、平和の大切さを改めて痛感すると共に政治家犬養元首相の人生に感動しました。

今回、私たち留学生のためにお忙しいところ、大勢の方にいろいろ準備して頂き、日本や岡山特有の文化と精神をしっかりと体験できたことは、留学生活にとって非常に有意義なものでした。有難うございました。

(岡山商科大学交換留学生・金哲永・陳一竹・江伝帆・丁タウン・蘇紅)



キャリアセンター便り

求人増えても採用基準は例年どおり

2015年3月卒業予定者の求人状況はマスコミ等に取り上げられているようにリーマンショック前（2009年卒）の水準まで回復していると思われます。特に製造業が前年度に比べ大幅に回復しています。学生の企業エントリー数は前年より増、個別企業説明会への参加者は前年並み、エントリーシート通過率については上昇しています。この通過率上昇の理由として2016年度卒の後ろ倒し採用に企業は不安を抱いており、幅広い層の学生から選考したいとの焦りがあったものと思われます。さらには採用試験を前年より早めたことも大きな特徴です。本学でも3年生の2月に内定をもらった学生がおりました。先行きの明るい2015年卒の就職活動だと感じ取っていた5月末（昨年同時期比3.9%増）でしたが、月日が過ぎるにつれ内定率の伸びが鈍化、8月末には前年比0.9%の微増です。その反面、求人数は、前年に比べ7月ごろから急激な伸び（就職サイト求人から大学求人へ移行）を示しており、内定率と求人数が比例していないことがわかります。採用される学生レベルは従来と変わりなし、企業の採用基準は例年どおり。私たちが最も不安を感じていることは学生、保護者の方がマスコミ等の報道を鵜呑みにし「入社できる企業はいくらでもある。やりたい

仕事を見つけてから就職すればいい。」と考えてしまうことです。企業の方々から「学生が残っていますか？いい学生がいれば紹介して下さい。」という言葉いただきます。「いい学生」とはどんな学生なのか、今、何をすべきかをしっかり考えてみてください。

2015年3月卒の内定率月別推移

	5月末	6月末	7月末	8月末	卒業時
2015年3月卒	28.7%	41.7%	51.0%	55.7%	—
2014年3月卒	28.3%	37.8%	50.4%	54.8%	95.2%
前年度との差	+0.4%	+3.9%	+0.6%	+0.9%	—

2015年3月卒の求人社数月別延べ推移

	5月末まで	6月末まで	7月末まで	8月末まで	卒業時
2015年3月卒	479社	599社	682社	744社	—
2014年3月卒	508社	545社	601社	632社	784社
前年度との差	-29社	+54社	+81社	+112社	—

公務員採用試験日程、2016年3月卒では 地方を中心に民間企業とバッチング

2016年卒業予定者の就職活動時期変更（後ろ倒し）に伴い、国家公務員総合職の試験日が1カ月程度後ろ倒しされます（国家総合職1次試験2015年5月24日、国家一般職1次試験2015年6月14日）。地方公務員試験の日程はまだ公表されておりませんが、国の動きに合わせて後ろ倒しになることが想定されます。民間企業の就職活動は3年生の3月解禁、8月選考開始とされており、3～7月の就職活動と公務員採用試験がバッチングすることになります。公務員希望学生は日程を十分理解したうえで早期からの効果的受験対策が必要となります。



2014年2月6日に開催された2015年3月卒業予定者向けの学内合説

Information

情報アラカルト

阿部敏昭剣道部顧問が 倉敷市体育章を受章されました。

本学剣道部で指導されている阿部敏昭監督が平成25年倉敷市体育章（体育振興功労者）を受章されました。これは、倉敷市内において長年にわたり剣道の指導を行われ、剣道の普及発展に努められたこと、また、倉敷市体育協会剣道部部长、岡山県学校剣道連盟副会長など多くの役職を務められ剣道を通じた青少年の健全育成及び競技の普及に対する功績が認められたことによるものです。平成26年2月18日には倉敷市役所で授章式が行われ、伊東香織市長から授章を受けました。

第49回商大祭について

2014年10月25日（土）～26日（日）に第48回商大祭が開催されます。本年度のテーマは『商大祭志 The wind of change』です。これまでの経験を活かし、新しい風を吹きこみ、商大祭をより良いものにしたいという思いでこのテーマにしました。家族や友人などをお誘いの上、『商大祭志 The wind of change』へぜひお越しください。大学祭実行委員会一同心よりお待ちしております。（大学祭実行本部）

平成25年度計算書（岡山商科大学収支内訳表）

資金収支内訳表

（単位：千円）

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,689,680	1,558,058	131,622
手数料収入	16,447	16,879	△ 432
寄付金収入	15,100	13,983	1,117
補助金収入	89,181	127,839	△ 38,658
国庫補助金収入	89,081	127,733	△ 38,652
地方公共団体補助金収入	100	106	△ 6
資産運用収入	5,010	3,750	1,260
資産売却収入	0	47	△ 47
事業収入	56,835	44,328	12,507
雑収入	30,269	36,937	△ 6,668
収入の部合計	1,902,522	1,801,821	100,701
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,021,501	986,945	34,556
教育研究経費支出	461,183	429,537	31,646
管理経費支出	137,599	125,696	11,903
借入金等利息支出	1,010	1,010	0
借入金等返済支出	10,800	10,800	0
施設関係支出	232,372	235,015	△ 2,643
設備関係支出	88,262	86,918	1,344
支出の部合計	1,952,727	1,875,921	76,806

消費収支内訳表

（単位：千円）

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	1,689,680	1,558,058	131,622
手数料	16,447	16,879	△ 432
寄付金	15,100	14,144	956
補助金	89,181	127,839	△ 38,658
国庫補助金	89,081	127,733	△ 38,652
地方公共団体補助金	100	106	△ 6
資産運用収入	5,010	3,750	1,260
資産売却差額	0	△ 39	39
事業収入	56,835	44,328	12,507
雑収入	30,269	36,937	△ 6,668
帰属収入合計	1,902,522	1,801,896	100,626
基本金組入額合計	△ 93,573	△ 82,853	△ 10,720
消費収入の部合計	1,808,949	1,719,043	89,906
消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	1,015,450	980,065	35,385
教育研究経費	586,049	554,166	31,883
管理経費	163,416	154,974	8,442
借入金等利息	1,010	1,010	0
資産処分差額	500	2,814	△ 2,314
消費支出の部合計	1,766,425	1,693,029	73,396

誌面の都合により千円未満の単位を省略しています。

GPAによる成績評価について

本学では2009年度より学業成績をはかる基準として、「優」・「良」・「可」・「不可」の成績評価に加え、GPA制度を利用しています。成績通知書に記載されている当該期及び累計GPAの変化を見ることにより、自身の学修成果を客観的にとらえることができます。

GPAとは、Great Point Averageの略で科目の評点をGP（グレードポイント）に換算し、1単位のGPの平均値を算出するものです。

【GPA＝（科目のGP×単位数）の総和÷科目の単位数の合計】となり、最高点は、4.00です。

なお、最近の分析で本学では、当該期GPAが1.0を下回った場合は勉学意欲の低下が懸念され、0.5未満で過去の期と合わせて0.5未満が2回以上ある場合には、留年の可能性が高い傾向にあることが分かってきました。

また、近年1、2年次の退学率が極めて高くなっており、特にGPAが1.5未満の学生の退学率が高いことも明らかになってきました。

これらを受けて、退学防止に向けてゼミ担当教員を中心として指導強化をはかると共に、進級判定においてもGPAの活用に取り組みたいと考えています。学生諸君においても、学業成績の指標のひとつとして、GPAを参考にして自分の現状を把握し、自己啓発や今後の履修計画に役立ててもらいたいと思います。（教務課）

ESD 国際ワークショップのお知らせ

本学では、平成25年から、岡山市との間でESD（持続可能な開発のための教育）に関する協定を締結し、地域を中心に環境や国際理解に関する活動を進めています。

平成26年10月には、「ESD推進のための公民館－CLC国際会議」が開催されるなど、11月のグローバルRCE会議、ユース・コンファレンス、ユネスコスクール世界大会に向けて、ESD活動が本格化していきます。

CLC国際会議に先立つ10月8日（水）に認定NPO法人「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議（ESD-J）が主催、本学と岡山市が共催し、国際ワークショップ「生物多様性を踏まえたアジアの持続可能な農山村社会の形成」を開催します。

我が国においては、多くの農山漁村等は、過疎高齢化や労働人口の流出等による地域社会の衰退に直面していますが、アジアの多くの国でも同じような課題が見られます。

それぞれの地域の地域資源を再発見し、持続可能な形で利用し地域を活性化する取り組みを紹介することにより、アジア各国と持続可能な地域社会づくりに関する情報・経験を共有することで、相互に学びあうことが可能になると期待されます。

本ワークショップでは、インド、フィリピン、インドネシアの発表に続き、本学が包括協定を結ぶ真庭郡新庄村において、環境に配慮したアイガモ農法に長年取り組まれた新庄村三鴨宏宜住民福祉課長が、経営学部岸田芳朗教授の支援により日本の事例を報告します。

多くの方で参加を期待しています。

日 時：2014年10月8日（水）13時30分～16時30分

場 所：岡山国際交流センター 2階国際会議場

（産学官連携センター）

ワークショップ。発想で日本一やわらかい瓦をつくれ！！

産学官連携センターは、平成26年7月19日に本学アクティブラーニング教室において、岡山県瓦工事協同組合の関係者10名に対するワークショップを行いました。これは、同組合の廣安青年部副部長が、若手経営者の会「おかやまPRODUCE」（おかやま信金主催）で実施した当連携センターの発想法ワークショップに参加されたことがご縁で実現したものです。



ワークショップでは商学科の学生3名も加わり、「瓦でつくる楽しい暮らし」をテーマに2グループに分かれ、自由、かつやわらかい発想でアイデアを出し、それらをまとめ発表しました。学生たちは、「忍者の格好で瓦の上を走るという体験ができるテーマパークをつくる」とか、「ストレス解消用の瓦割セットを販売」といった組合の方には普段想像もつかないようなアイデアを練り出し、終始笑い声が絶えないワークショップとなりました。参加者からは、「自分たちの仕事をこのような発想で考えたことがなくとても楽しかった」、「接する機会のない学生と一緒に話し合うのが非常に新鮮だった」といった感想をもらいました。

当連携センターでは、引き続き岡山県内の企業・団体等からご依頼があれば、こうしたワークショップを積極的に実施していきたいと考えています。

（産学官連携センター・経営学部 教授 三好 宏、同 特任教授 馬淵 キノエ）

人事異動

種別	役職等	氏名	所属	日付
退職	招へい講師	丁 勇	経営学科	2月28日
	教授	山下隆資	経済学科	3月31日
	教授	佐藤昭嗣	商学科	
	教授	南部 稔	商学科	
	教授	岡東壽隆	経営学科	
	大学院特任教授	堤 一浩	商学研究科	
	准教授	小嶋寿史	経済学科	
	講師	井田大輔	経済学科	
	嘱託職員	橋本 有史	学生課	
採用	教授	近藤 一仁	商学科	4月1日
	特任教授	柳瀬 昭彦	商学科	
	准教授	山根 智沙子	経済学科	
	講師	石原 憲	経済学科	
	講師	大石 貴之	商学科	
	講師	國光 類	経済学科	
	講師	加藤 友佳	法学科	
	講師	加藤 真也	経済学科	
	講師	陳 恵貞	経営学科	

種別	役職等	氏名	所属	日付
採用	参事(嘱託職員)	山本篤治	入試課	4月1日
	嘱託職員	木下恭典	学生課	
職位変更	教授	長田貴仁	経営学科	
昇任	係長	遠藤みゆき	教務課	
	係長	時耕邦宏	法人事務局	
再任	大学院長(兼)	井尻昭夫	経営学科	
	法学研究科長	香山忠志	法学研究科	
	教学部長	田中 潔	商学科	
	キャリアセンター長	有利隆一	経済学科	
異動	課長(兼)	山本二郎	入試課	6月1日
	主任	橋本真記	入試課	
新任	事務職員	中川尚子	産学官連携センター	7月1日
	学長補佐	岡本輝代志	商学科	
採用	嘱託職員	山縣 玲子	入試課	8月31日
	嘱託職員	藤澤 寛子	キャリアセンター課	
退職	嘱託職員	孫 曉馬	学生課	9月30日
	教授	多田憲一郎	経済学科	

（総務企画課）

2015年度入試日程

AO入試

全学部 エントリー期間：2014年7月1日(火)～2015年2月6日(金) 試験会場：本学
「岡山商科大学で学びたい」そんな君たちからのエントリーをお待ちしています。

入試部：TEL 086-256-6652

試験区分		学 部	出願期間	試験日	合格発表	試験会場			
指 定 校 推 薦		全学部	9月16日(火)～10月10日(金)	10月18日(土)	10月24日(金)	本 学			
専門能力推薦	前 期 日 程		9月16日(火)～10月10日(金)	10月19日(日)	10月24日(金)	本 学			
	後 期 日 程		2月 2日(月)～ 2月20日(金)	2月26日(木)	3月 6日(金)				
一般公募制推薦	前期		A日程	10月14日(火)～10月31日(金)	11月 8日(土)	11月14日(金)	下記前期AB日程 試験会場参照		
					B日程			11月 9日(日)	
	後 期 日 程		11月10日(月)～12月 5日(金)		12月13日(土)	12月19日(金)		本 学	

〔一般公募制推薦入試 前期A-B日程 試験会場〕 本学、広島、福山、松江、高松、松山、高知

一般入試

前期	A日程	全学部	1月 5日(月)～ 1月30日(金)	2月 7日(土)	2月13日(金)	下記前期AB日程 試験会場参照
	B日程			2月 8日(日)		
中期日程			2月 2日(月)～ 2月20日(金)	2月26日(木)	3月 6日(金)	本 学
後期日程			2月23日(月)～ 3月 6日(金)	3月12日(木)	3月20日(金)	本 学

〔一般入試 前期A-B日程 試験会場〕 本学、広島、福山、松江、高松、松山、高知、小倉

大学入試
センター試験
利用入試

前期日程	全学部	1月 5日(月)～ 1月30日(金)	2月13日(金)
中期日程		2月 9日(月)～ 2月26日(木)	3月 6日(金)
後期日程		3月 2日(月)～ 3月12日(木)	3月20日(金)

(入試課)

岡山市との間に防災協定を締結

本学は、平成26年5月21日(水)岡山市役所に大森雅夫市長を訪ね、岡山市との間に「災害時における避難所の指定等に関する協定」を締結しました。協定では、災害時における大学施設の一部を避難場所として提供すること、避難生活の長期化が予測されるときは、学生ボランティアを募集し、避難所の運営補助や救援物資運搬などで協力することになっています。

防災情報配信メールの登録を!

岡山市では、津波情報・避難勧告等の緊急情報を各携帯電話会社と連携し、市内にある携帯電話に対し、**緊急速報(エリア)メール**として配信します(申し込み不要)。配信があった場合は岡山市からの情報に注意して下さい。

また、岡山県でも、**防災情報メール配信サービス**の提供を行っています(要登録)。警報・注意報、地震・津波情報、土砂災害警戒情報などを選んで登録できます。登録は、検索サイトから「岡山県 防災」で検索して下さい。

平素から、災害への備えを行い、緊急時には速やかに行動できるようにしてください。(総務企画課)

吹奏楽部員募集中!!

初心者でも大歓迎

多くの人、多種多様な楽器が力を合わせて1つの音楽を創りあげていく吹奏楽には他にない達成感やコミュニケーション能力が身に付き人間力アップの一助になること間違いなし!

楽器の経験、未経験、楽譜が読める、読めない、は関係なく、練習を重ねていくとすぐに出来る様になります。また、楽器は今年4月にとても吹きやすいハイグレードの新製品を多く購入しています。

現在7名程度の部員が10月の大学際に向けて7曲程度の曲を練習中ですが、もっと部員を増やして様々な場面で演奏を披露できるような部になりたいと部員一同思っているため、今からでもOK!一緒に吹奏楽をやみましょう。

火・木曜日の週2回6号館の4階で練習しています。個人的な練習は他の曜日でもやっていることあるので覗いてみてください。入部随時OKです。

(吹奏楽部顧問・石原 憲)

慶應MCC タ学サテライト
2014年度後期 開催予定

- 開催時間 18:30～20:30(開場18:00)
- 会 場 岡山商科大学 7号館781教室
- 受講料 パスポート券(15回)10,000円
受講券(1回)1,200円

10月2日(木) <自分の頭で考える>

藤原 和博 (ふじはら かずひろ)
教育改革実践家
「正解のない問いに向き合う力」

10月3日(金) <先が見えない時代の経営論>

伊丹 敬之 (いたみ ひろゆき)
東京理科大学大学院 イノベーション研究科 教授
「孫子に経営を読む」

10月9日(木) <先が見えない時代の経営論>

高岡 浩三 (たかおか こうそう)
ネスレ日本株式会社 代表取締役社長兼CEO
「成熟先進国におけるビジネスモデルイノベーション」

10月21日(火) <この人に聞く>

武田 双雲 (たけだ そううん)
書道家
「ポジティブの教科書」

11月4日(火) <気鋭の論客に聞く>

松山 大耕 (まつやま だいこう)
妙心寺退蔵院 副住職
「禅とグローバリゼーション」

11月7日(金) <先が見えない時代の経営論>

中原 淳 (なかはら じゅん)
東京大学 大学総合教育研究センター 准教授
山口 孝夫 (やまぐち たかお)
宇宙航空研究開発機構 有人宇宙ミッション本部
宇宙環境利用センター 計画マネジャー

「リーダーシップは測れるのか?育てられるのか?～宇宙飛行士の選抜・育成システムから考える～」

11月11日(火) <先が見えない時代の経営論>

桜井 博志 (さくらい ひろし)
旭酒造株式会社 代表取締役
「ピンチはチャンス!～「瀬戸」を世界に届ける～」

11月13日(木) <自分の頭で考える>

安富 歩 (やすとみ あゆむ)
東京大学東洋文化研究所 教授
「ドラッカーと論語・未来を切り開くマネジメントの思想」

11月28日(金) <自分の頭で考える>

斎藤 環 (さいとう たまき)
筑波大学医学医療系 社会精神保健学 教授
「ヤンキー化と日本人論」

12月3日(水) <共感と共生の方法論>

水野 学 (みずの まなぶ)
クリエイティブディレクター 慶應義塾大学特別招聘准教授
「いま経営に必要なブランディングとデザイン」

12月9日(火) <気鋭の論客に聞く>

駒形 哲哉 (こまがた てつや)
慶應義塾大学経済学部 教授
「中国の社会主義市場経済は続くのか」

12月11日(木) <共感と共生の方法論>

安藤 俊介 (あんどう しゅんすけ)
一般社団法人日本アンガー マネジメント協会 代表理事
「怒りをコントロールする技術」

1月15日(木) <自分の頭で考える>

西澤 直子 (にしざわ なおこ)
慶應義塾福澤研究センター 教授
「「一身独立」して「一国独立」す ～福澤論吉からのメッセージ～」

1月23日(金) <先が見えない時代の経営論>

内田 和成 (うちだ かずなり)
早稲田大学ビジネススクール 教授
「既存事業の防衛戦略～新たな挑戦者にどう対応すべきか～」

1月28日(水) <共感と共生の方法論>

中村 和彦 (なかむら かずひこ)
南山大学 人文学部心理人間学科 教授
「組織開発のすすめ」

●お問合せ先

●岡山商科大学社会総合研究所
〒700-8601 岡山市北区津島京町2-10-1
TEL086-256-6656

(社会総合研究所)